

令和3年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	12	講習名	【選択⑫】英語以外の言語に触れ英語教育を考える										
担当講師	河村 和也	開催地	インターネット	時間数	6時間	主な受講対象者	小学校教諭、及び中学校・高等学校英語科教諭	受講人数	30人	講習形式	同時双方向型講義 (ZOOM等)	試験方法	筆記
開催日	8月28日(土)			予備日	月 日 ()								
【到達目標】 *学習者が外国語を習得する過程を追体験し、指導法の改善を意識化することができる。 *学習者が英語につまずく要因を推測し、適切な対応法を考えることができる。													
【講習の概要】 小学校における外国語活動(英語科授業)ならびに中学校・高等学校における英語科授業の改善に資する理論と実践のヒントを提供する。具体的には、(1)英語以外の言語や英語の文字以外の文字に触れ、児童・生徒の外国語学習を模擬的に体験する。また、このことを通じ、(2)学習者が英語につまずく瞬間をイメージするとともに、これに適切に対応するための心構えや具体的な方法を考える。一方的な講義を避け、受講者には演習や討論への積極的な参加を求める。													
【講習の内容】 講義1：ことばへの気づき 無意味な音の連続が意味をもった言語の音声になり、文字がほかの絵や図形と区別されるようになるのはなぜだろう。このことを理解することは、学習者の「ことば」への気づきを促すきっかけともなる。講義1では、1本の映画を素材とした音と文字をめぐる不思議な体験を通じ、学習者の視点を取り戻してみたい。													
講義2：文字の形と書き方 講義1を受け、講義2では、英語の文字とは異なる文字体系である「キリル文字」が使えるようになることを目指す。あわせて、「ラテン文字」とも「ローマ文字」とも呼ばれる英語の文字に関して初學者の抱いた素朴な疑問をもとに、英語の文字の形や書き方について知見を広めるとともに具体的な指導法についても考えてみたい。													
講義3：言語学習の模擬体験 県立広島大学では全学共通教育科目に「世界の言語と文化」を置き、複数の言語に触れることを促している。講義3では、2020年度に同科目で扱った言語のうち、多くの受講者には馴染みがないと思われる「モンゴル語」を取り上げ、その初歩を学ぶ。あわせて、この言語を用いて生活する人々の持つ文化について思いを馳せてみたい。													
講義4：素朴な疑問への対応 学習者の質問は、ときに指導者(教授者)の不意を突いてくるものである。講義4では、そのような質問のいくつかを取り上げ、受講者の経験に基づく意見交換を通じて適切な対応法を考えてみたい。受講者にも同様の困った(あるいは微笑ましい)経験があれば、今後に資するべく全員で共有したいと考えている。													
【備考】 試験の際、講義テキスト・講義資料・ノートの持ち込みを認める。													